







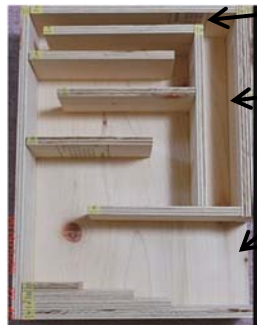
2019年7月14日・AAFC例会発表・小田貢

自作キット[電源・DAC・アンプ]と自作スピーカー

TPS7A4700使用 超ローノイズ・プログラマブル可変電源キット	USBオーディオ DAコンバーターキット	AN7173K使用 ステレオオーディオ パワーアンプキット	8cm フルレンジ スピーカーユニット DCU-F081A
秋月電子	同左	同左	Park Audio/コイスミ無線
			

バックロードホーン
H:W:D = 450 : 124 : 336mm
板厚: 12mm
針葉樹合板

3x6 板をホームセンターでカット。



スロート: 20cm²

空気室: 1.435 Litter、断面積: 50cm²

開口部: 12.7cm² 対/スロート: 6.35 倍

気道: 1620mm(中間線)

【曲目】 広い空間の中、自作オーディオで聞きたい曲を選びました。

No	作曲	曲名	演奏 / 録音年	時間
1	13世紀ドイツ人	カルミナ・ブラーナ (意味: ホイェルの歌) 第一曲 ようこそ、バッカス	アンサンブル・ユニコーン 主宰: ミヒヤエル・ポツシュ 1997、マウアーバッハ録音	5:55
2	トヴォルザーク	ユーモレスク	ミッシャ・エルマン(VI)、カール・ゼーマン(P) 1959	3:52
3	J. S. バッハ	カンタータ BWV208 から ① 第9曲 アリア 「羊は憩いて草を食み」 ② 第11曲 合唱 「栄えよ、地上の太陽よ」	エディット・マティス(S) ペーター・シュライヤー指揮 ベルリンゾリステン 2000	4:56 2:57
4	ファリヤ	「三角帽子」から「粉屋の踊り」 (Danza Del Molinero)	村治佳織(ギター) / 2005	3:04
5	モーツァルト	協奏交響曲 K. 364 1楽章	五嶋みどり(VI)、今井信子(VIa) エッセンバッハ指揮 北ドイツ放送管弦楽団2001	13:28'
6	ショパン	舟歌 Op. 60, B 158	クリスチアン・ツィマーマン(P) / 1988	8:57
7	バーンスタイン	キャンディード序曲	レナード・ハースタイン指揮 ニューヨークフィルハーモニー管弦楽団	4:12
8	ドヴェュッシー	亜麻色の髪の乙女	ジェームズ・ゴールウェイ(FI)指揮 Chamber Orchestra of Europe 1985	2:27

【合計: 50分】

【曲目解説】・・・Wikipedia から

1	<p>【カルミナ・ブラーナ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1803年、ポイエレン修道院の国有化調査時、図書室から古い歌を集めた写本が発見された。 ● 歌は約300編にのぼり、ラテン語、古イタリア語、中高ドイツ語、古フランス語などで書かれていた。 ● 歌詞の内容は若者の怒りや恋愛の歌、酒や性、パロディなどの世俗的なもの。 ● ネウマ譜による簡単な旋律が付けられているものが10曲あった。 ● これら写本は11世紀から13世紀の間に書かれたと推測され、現在はバイエルン州立図書館に所蔵されている。 	
2	<p>【ユーモレスク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1894年ドボルザークにより作曲された「8つのユーモレスク」作品101の一曲。 ● 家族とボヘミアのヴィソカー・ウ・プシーブラミで夏休みを過ごし、その間蒐集した素材を用いピアノ小品集を作曲。8月27日に完成。 	
3	<p>通称【狩のカンタータ】・・・『楽しき狩こそわが悦び』(Was mir behagt, ist nur muntre Jagd!) BWV208</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現存するバッハの世俗カンタータ中で最古。 ● 1713年2月27日のヴァイセンフェルス公クリスティアン(1682年 - 1736年)の誕生日を祝う作品 ● 全15曲からなり、第9曲のアリア冒頭はNHK-FM放送の長寿番組『あさのバロック』のオープニング曲に編曲され日本では特に有名。 	
4	<p>【粉屋の踊り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 『三角帽子』は、ペドロ・アントニオ・デ・アラルコンがスペイン・アンダルシアの民話を元にした短編小説『三角帽子』を元にしてマヌエル・デ・ファリヤが作曲したバレエ音楽。 ● タイトルは登場人物の一人、「代官」の帽子に由来する。 	
5	<p>【ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 K. 364】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 1777/8年パリでマンハイム楽派の影響を受けたモーツァルトは、1779年ザルツブルクに戻ってからこの曲を書く。 ● モーツァルトは独奏ヴィオラの弦を半音高い調弦(スコルダトゥーラ)を指定。弦の張力を上げることで華やかな響きとなり、地味な音色であるヴィオラがヴァイオリンと対等に渡り合う効果を狙った。 	
6	<p>【舟歌 Op. 60, B 158】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ショパン 1846年作曲のピアノ独奏曲。シュトックハウゼン男爵夫人に献呈。 ● 通常の舟歌は2拍子系の8分の6拍子であるが、より優雅安楽な演出のために4拍子系の8分の12拍子にしている。ノクターンに近い曲想。 	
7	<p>【キャンディード】(Candide)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ヴォルテールの『カンディード、あるいは楽天主義説』を原作とした舞台作品。 ● 脚本はリリアン・ヘルマン、音楽はレナード・バーンスタイン、作詞は主にリチャード・ウィルバーが担当。 ● 1956年初演後改訂が重ねられ、バーンスタイン自身による1989年の改訂が完全版とされている。 	
8	<p>【亜麻色の髪の乙女】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クロード・ドビュッシーの作曲したピアノのための前奏曲集は、各12曲第1巻[1910年]、第2巻[1913年]。 ● 第8曲。優しい旋律による叙情美溢れる曲。他の曲と趣が異なり、調性もはっきり変ト長調に定まった旋律的で短い小品。 	